

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 神戸町立たんぼぼ学園

公表日 2026年 3月 6日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	・アコーディオンカーテン等で部屋を区切ってスペースを確保したり、2階の遊戯室や園庭等も利用したりしている。	・活動内容に合わせて部屋を譲り合っているが、個別指導室が足りなくなることがある為、指導人数に配慮していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	62%	38%	・法令で必要とされる配置数は満たしている。	・年々利用者が増加し、指導後の事務作業に時間が取れない為、指導をする職員を増やしていく必要がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	・昇降口等、バリアフリー化はされていないが、環境は十分に配慮している。	・指導室と職員室の連絡方法がない為、内線電話の設置を検討している。 ・寒さが苦手な子どもの為にシートを敷く等の対応をしているが、暑さや寒さへの対策を考えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・指導を行う職員間で打ち合わせを行い、指導後に反省を行っている。 ・悩んだ時に、いつでも相談できる環境である。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に1回、保護者向けアンケートを行い、業務改善に活かしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員会で各職員が意見を伝える場を作っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	・主任児童委員に指導を参観していただき、評価を得ている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・年2回、園内研究会を行い、資質向上に努めている。 ・西濃圏域発達支援センターを中心に、西濃圏域の療育施設と連携し、研修の機会を設けている。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・NCプログラムを使用したり、行動からアセスメントをとったりしている。	・今後、感覚プロファイルやWAVESなども取り入れ、より効果的なアセスメントができるようにしていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・各年齢のリーダーが中心となり、指導内容を立案し、職員間で話し合っている。また、次回の指導について、話し合いの場を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		・打ち合わせが指導開始ギリギリになってしまうことがある為、早めに行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	・十分に話し合いの時間を取ることは難しいが、記録を書く時間等に子どもの様子を共有している。	・事務作業に追われて、十分な反省や振り返りが出来ない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・病院の定期受診に同行し、情報提供を行った。 ・園訪問に出向き、学園と幼稚園との連携を図った。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・神戸町内にある四園には定期的に園訪問を行い、通園している子どもの様子を把握している。また、担任や加配保育士と一緒に、よりよい関わり方を考えている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・支援の引継ぎ書を作成し、情報提供を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	・療育ネットワーク研究会を行い、西濃圏域発達支援センターから講師を招き、指導や助言を受けている。	・今後さらに指導や助言を受けられる機会を増やしていきたい。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	87%	13%	・未就園児には子育て支援のかんがる一広場などへの参加を促している。必要であれば担当職員も参加している。 ・就園児は同じ幼稚園の子だけでなく、いろいろな幼稚園の子とグループが組めるように構成している。	・気候がよい季節には、公園へ散歩に行き、他児と関わる機会をつくっているが、今後さらに機会を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・たんぽぽノートを活用し、指導の様子や課題を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・年2回個別懇談を行い、支援計画の説明と共に悩みに対する相談にのっている。 ・保護者からの相談に対して、担当者一人で考えるのではなく、他の職員の意見も参考にしながら、より良い方法や手立ての仕方等を伝えるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・親子ふれあい参観や家族参観を行い、子どもの様子を知ると共に、保護者同士の交流の機会をつくっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・相談内容に応じて、担当者、園長、相談支援員が適切に対応するように心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	72%	28%	・年2回程、町内の中学生との交流を行っている。	・主任児童委員を招くことはあるが、地域住民との交流の機会がない。
非常時等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・おたよりや掲示により周知している。 ・避難訓練はもちのき園と合同で行っている。 ・水害訓練(垂直避難)も行った。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	72%	28%	・どの職員でも確認できるように一覧表を作成してある。	・保護者からアレルギーの有無について確認しているが、医師の指示書などの提示は受けていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・掲示により行っている。	

の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会時に虐待防止チェックリストを用いて全職員で行っている。 ・何気ない名前の呼び方や接し方などを振り返る機会があり、日々、気を付けるようにしている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書により説明しているが、各々の計画には記載していない。